

2050年 まちのビジョン

交流を生み、創造性を高める

まちごとワークプレイス

どこでも、働く、交わる、くつろげる
企業やワーカーから選ばれるまち



4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

小倉地区

2050年 まちづくりの方針

01. オフィスでも、アウトドアでも、 好きな場所、好きな時間に快適に働ける環境



▲ 公園等を活用したワーケーション



▲ 公共空間における通信環境等の向上(道路・公園・広場等)



▲ ビジネスパーソンの憩い空間



▲ 多様な働き方が可能なスペース（シェアオフィス・コワーキングスペース・スマートビル等）



▲ オフィスと住宅が混在する複合用途型マンション

02. くつろげる、リフレッシュできる、リセットできる、 自分の時間を過ごせる場



▲ 水を感じられる・水辺に座ってくつろげる河川空間



▲ 芸術・文化に気軽に触れ合う仕掛け



▲ 広場のガーデンカフェ・バー



▲ まちに開放されたオープンカフェ・バー

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

03. 車優先からヒト優先の道路空間へ



▲ 道路空間の再編(フルモータル)



▲ ループバス・デマンド型バスなど回遊性を高めるMaaSの展開



Before

After



▲ 自家用車等の通行規制(進入制限・ハンプの設置等)



▲ 道路空間の再編(トランジットモータル)

04. ウォーカブルな、歩いて楽しいストリート



▲ 路地裏空間の界索性



▲ 低未利用民有地を公共空間として活用



▲ 水辺空間を飲食・休憩スペースに



▲ オープンな 沿道店舗を含む街路空間再編



▲ 通りと一体になった憩いの空間創出

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

05. 稼げる、表現できる、交流できるステージ、賑わいと出会いの場



▲▶ 自己表現の場



▲▶ 民間が稼げる公共空間



▲ 多種多様な活動を支える冗長性ある広場

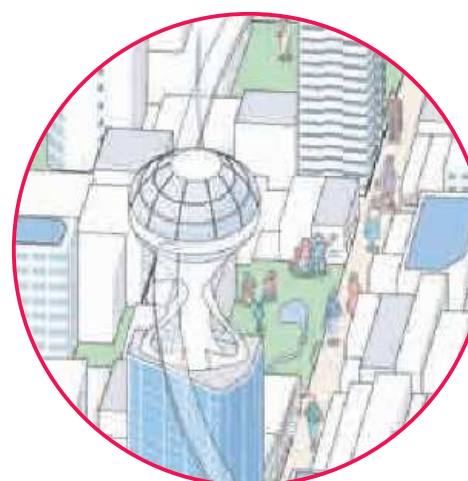
06. シンボリックな空間



▲ 駅周辺の景観形成



▲ 駅前のシンボルストリート



▲▶ 路地裏のフォトジェニックストリート

